

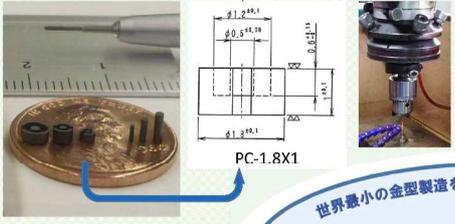
第 68 期 中間報告書

平成30年2月1日から平成30年7月31日まで

金型微細加工 世界一

Micro machining

= 微細金型 =



PC-1.8X1

短納期対応・品質管理

Mass production

= 自社一貫生産体制 =



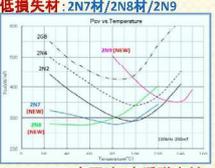
世界最小の金型製造を可能にした技術による生産体制

TOMITA'S M4

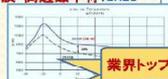
Technique The smallest fine mold in the world.

小廻のトミタ：小型サイズのフェライトコアを得意としております。

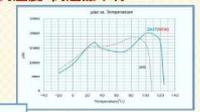
低損失材：2N7材/2N8材/2N9



高周波・高透磁率材：2H2C



高温高透磁率材：2H1T

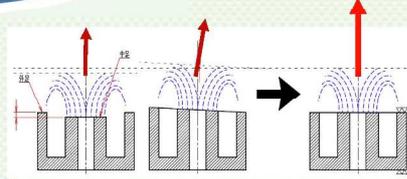


業界トップレベルの材質ラインアップ

Material Commitment

= 材質へのこだわり =

精密加工技術



Maximizing performance

= 性能の極大化 =



トミタ電機株式会社

株主の皆様へ

ここに当第2四半期連結累計期間（平成30年2月1日から平成30年7月31日まで）における事業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済といたしましては、米中の貿易摩擦の影響が懸念されるなか、総じて緩やかな成長を続けました。欧州経済は個人消費、企業業績ともに堅調に推移しました。中国、インド等の新興国経済も拡大傾向が持続しており、全体として安定的に推移しました。

我が国経済におきましては、人手不足や原材料価格の上昇など懸念要因があるものの、内外需要ともに堅調に推移し、緩やかな回復傾向が見られました。

当電子部品業界といたしましては、スマートフォンは低迷しましたが、車載関連は堅調に推移しました。海外市場でのICT関連も拡大しており、IoTの広がりに伴い半導体製造装置関連、磁気センサ関連、並びに電流センサ関連の需要が順調に推移いたしました。

この様な市場環境の中で当社グループは、小型フェライトコア並びにコイル・トランス製品を中心とした拡販活動を国内外市場で積極的に展開いたしました。また、海外での製造原価低減と品質改善に取り組み、世界競争に打ち勝つことの出来る高性能で高品質の製品を生産すべく活動を続けてまいりました。

当第2四半期連結累計期間のフェライトコア販売は、国内市場においては産業機器向けの近接センサ需要が予測より低調に推移し、海外市場においては、中国国内のICT関連は好調に推移しましたが、昨年まで堅調だった車載関連が主要顧客の工場移転に伴う在庫調整に大きく影響を受け、前年同期比で6%減少しました。一方、コイル・トランス販売は半導体製造装置関連を中心に好調に推移しました。その結果、売上高は7億3千2百万円（前年同四半期比3.5%減）となりました。

損益面では、原価率の低減、並びに経費等の削減に努めましたが、中国の製造工場における人件費の上昇、並びに一般貿易に伴う輸入原料の税負担の増加、また売上減少に伴う製造原価の上昇により、1千6百万円の営業損失（前年同四半期は3千3百万円の営業利益）となりました。経常損失は1千3百万円（前年同四半期は3千6百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1千万円（前年同四半期は6千6百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

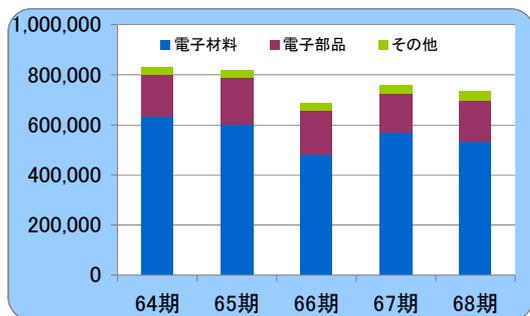
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年10月

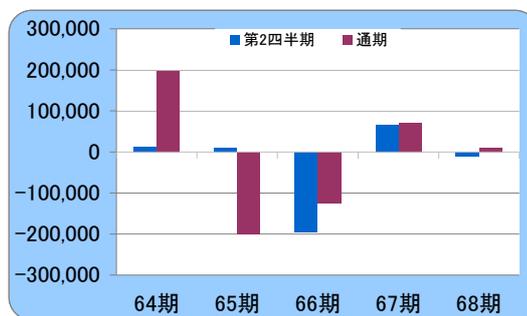
代表取締役社長
神谷哲郎

連結財務ハイライト

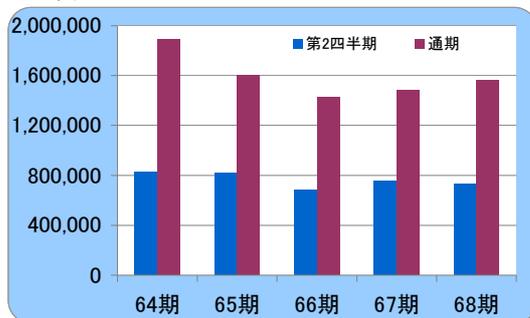
部門別販売実績(第2四半期) (千円)



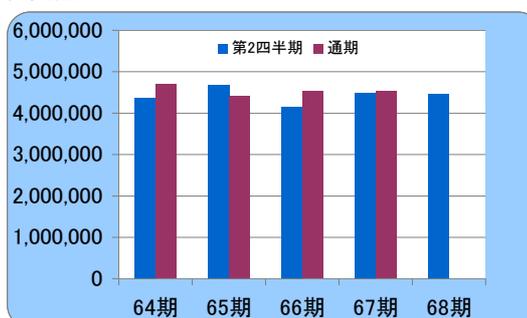
親会社株主に帰属する当期純損益 (千円)



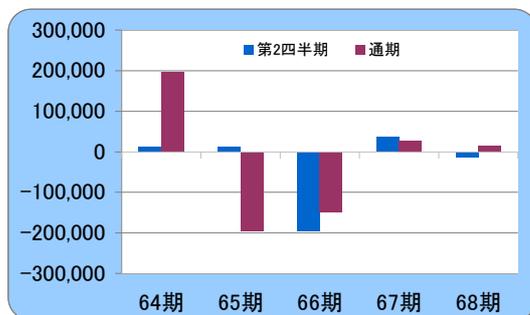
売上高 (千円)



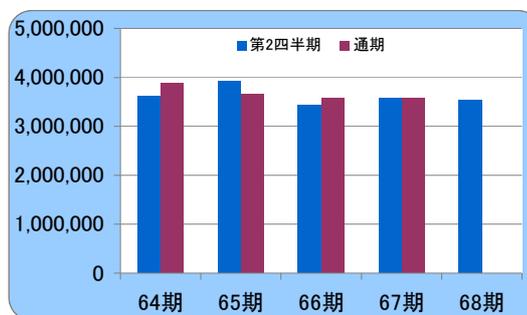
総資産 (千円)



経常損益 (千円)



純資産 (千円)



(注) 第68期の通期は業績予想によるものです。

通期の見通し

今後につきましては、車載、産業機器、I o T、医療機器、省エネ・環境分野を主眼に国内外市場での新規開拓に向け、新たに欧州営業窓口を開設し、積極的な営業活動を展開することで販売拡大を図りながら、海外生産工場の継続的な品質改善や経費削減に向けた取り組みを推進し、利益重視の体制を強化してまいります。

重点課題として以下の3点に取り組めます。

- ① 車載、産業機器、I o T、医療機器関連の新規受注獲得
- ② 原価低減に向けた品質改善と省力化、自動化の推進
- ③ 高信頼性、高効率化を目的とした材質開発の促進

(単位：千円)

科 目	当第2四半期連結 累計期間業績	平成31年1月期 見通し
売上高	732,242	1,558,000
営業利益又は営業損失(△)	△16,183	13,000
経常利益又は経常損失(△)	△13,782	15,000
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,273	11,000

要約連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当第2四半期末 (平成30年 7月31日現在)	前期末(参考) (平成30年 1月31日現在)
資 産 の 部		
流動資産	2,358,920	2,410,981
固定資産	2,106,741	2,113,471
資 産 合 計	4,465,662	4,524,453
負 債 の 部		
流動負債	213,728	232,105
固定負債	721,945	717,873
負 債 合 計	935,673	949,979
純 資 産 の 部		
株主資本	3,289,328	3,301,319
その他包括利益	240,659	273,155
純 資 産 合 計	3,529,988	3,574,474
負 債 及 び 純 資 産 合 計	4,465,662	4,524,453

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨ててにより表示しております。

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当第2四半期累計 (平成30年2月1日から 平成30年7月31日まで)	前第2四半期累計 (平成29年2月1日から 平成29年7月31日まで)
売 上 高	732,242	758,642
売 上 原 価	514,583	510,186
売 上 総 利 益	217,659	248,455
販売費及び一般管理費	233,842	214,976
営業利益又は営業損失(△)	△16,183	33,478
営業外収益	2,983	3,519
営業外費用	582	802
経常利益又は経常損失(△)	△13,782	36,196
特別利益	6,173	32,360
特別損失	110	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△7,720	68,556
法人税、住民税及び事業税	2,553	2,553
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,273	66,003
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,273	66,003

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨ててにより表示しております。

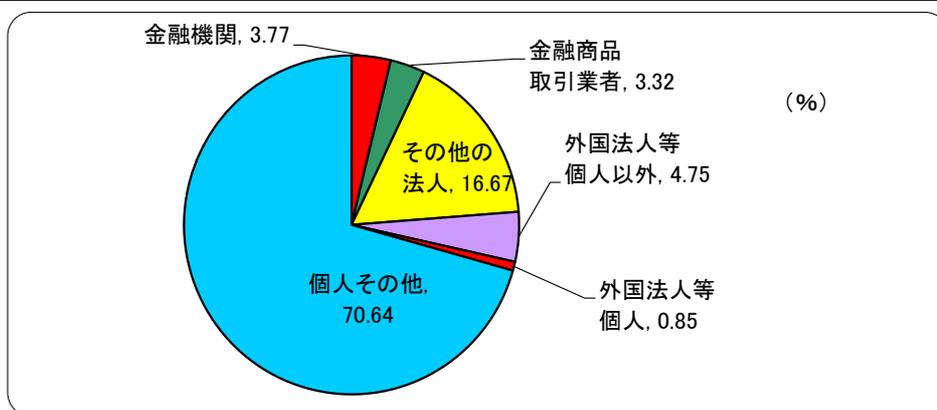
株式の状況

株式の状況（平成30年7月31日現在）

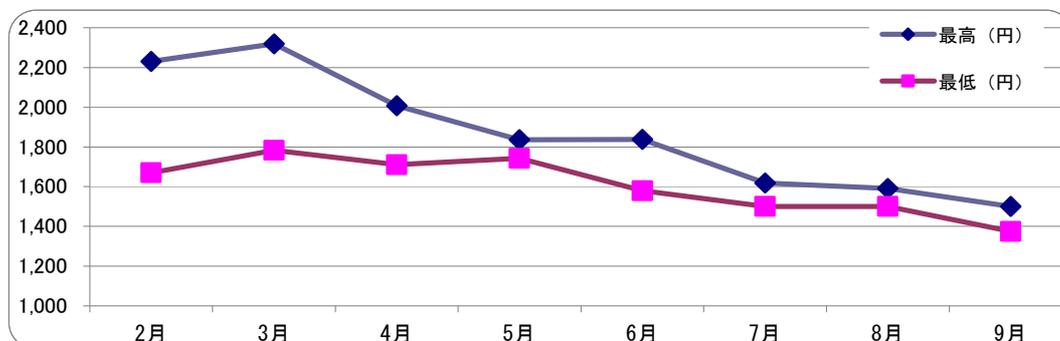
発行可能株式総数 1,600,000株
発行済株式の総数 816,979株

所有者別状況（平成30年7月31日現在）

区分	株式の状況（1単元の株式数 1,000株）							単元未満株式の状況（株）
	金融機関	金融商品取引業者	その他の法人	外国法人等		個人その他	計	
				個人以外	個人			
所有株式数（単元）	307	270	1,357	387	69	5,752	8,142	2,779
所有株式数の割合（%）	3.77	3.32	16.67	4.75	0.85	70.64	100.00	—



最近の月別最高・最低株価



（注）株価は、株式会社東京証券取引所 JASDAQ（スタンダード）における最高・最低株価を記載しております。

株 主 メ モ

事業年度	毎年2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
定時株主総会の基準日	1月31日
剰余金の配当の基準日	1月31日 中間配当を行うときは7月31日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネット ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由 によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に 掲載いたします。 (https://www.tomita-electric.com)

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

当社の株価情報から IR 情報など JASDAQ の Web Site でご覧いただけます。

